

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2203123	キャリア形成Ⅲ Career Development Ⅲ	相原、近藤 丹羽	専門	2	選択必修	2年 前期
科目の概要						
<p>生活をみる目を養う。感性を磨く。これが本授業のねらいである。私たちは普段、さまざまなことを見聞きし、感じ、考えて生活している。ところが不思議なことに、同じものをみているのに、何も感じない人もいれば、いろんなことに気がつく人もいる。日常の何気ないことから価値を見出す人もいる。当たり前のことを当たり前とは思わずに、おもしろい、なぜだろう、と楽しむ人もいる。自分の生活を豊かにし、それを周りの人にも感染させられる。そんな人になってもらいたい。</p> <p>本授業では、「食文化の伝統」と「食文化の現在」をテーマとする2つの課題を設定した。これらの課題を通して新しいものの見方を獲得し、生活の豊かさを感じられるようになってもらいたい。そして、科目の後半では、これまでキャリア形成Ⅰ～Ⅲで取り組んだ課題で作り上げた成果物を再チェックし、1年半の学修成果を総点検する。</p>						
学修内容			到達目標			
① 家をおさめる、人が暮らす、生活を作ることにについて知る。 ② 「食文化の伝統」がもたらす暮らしの豊かさを知る。 ③ 「食文化の現在」の課題を知ることから暮らしの豊かさを考える。 ④ キャリア形成Ⅰ～Ⅲで取り組んだ課題で作り上げた成果物を総点検する。			① 家をおさめる、人が暮らす、生活を作ることにについて説明できる。 ② 「食文化の伝統」がもたらす暮らしの豊かさを記事として伝えることができる。 ③ 「食文化の現在」の課題を知ることから暮らしの豊かさを考え、記事として伝えることができる。 ④ 暮らしの豊かさとは何か、自身の考えをまとめることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。				
	働きかけ力	他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。				
	実行力	作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。				
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。				
	計画力	提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。				
	創造力	作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。				
チームで働く力	発信力	写真やレイアウトも総合して読み手を意識した記事を作成することができる。				
	傾聴力	相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。				
	柔軟性	同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立つことができる。				
	状況把握力	課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。				
	規律性	共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。				
	ストレスコントロール力	作成する記事をより良いものとするための努力や苦労を自身の成長の機会と捉えることができる。				
テキスト及び参考文献						
「暮らしの手帖」第5世紀5号(暮らしの手帖社) その他、参考資料は適宜配布する。						
他科目との関連、資格との関連						
この科目での学びは2年前期までに開講されるすべての科目と関連する。そして次学期以降に開講される生活スタジオ関連科目、卒業研究へつながる科目である。						
学修上の助言			受講生とのルール			
暮らしの手帖のバックナンバーはデザイン準備室および図書館にあるので、積極的に読んでほしい。			授業の性質上、欠席による補習はかなりの努力が必要なため、原則として1回の欠席も認めない。特別な事情がある場合は事前に連絡をすること。補習を行わせる。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
小テスト		①	
		②	
レポート	90	①	最終的に提出された完成記事に対して評価する。記事の推敲過程の評価は学修態度に反映させる。課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映しているか、読み手を意識して記事が書かれてあるかを評価する。記事の言語表現レベルは、暮らしの手帖を合格(可)の基準とする。 コンテンツ 6～7の課題とのキャリア形成 I～Ⅲの振り返り評価の配分は 1/3 ずつの等分とする。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
作品		①	
		②	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	<p>【主体性】作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。</p> <p>【働きかけ力】他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。</p> <p>【実行力】作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。</p> <p>【課題発見力】与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。</p> <p>【計画力】提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。</p> <p>【創造力】作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。</p> <p>【発信力】写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した記事を作成することができる。</p> <p>【傾聴力】相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。</p> <p>【柔軟性】同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。</p> <p>【状況把握力】課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。</p> <p>【規律性】共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。【ストレスコントロール力】作成する記事をより良いものとするための努力や苦労を自身の成長の機会と捉えることができる。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映している。</p> <p>※本科目における課題の本質の理解とは、「食べること」「住まうこと」「遊ぶこと」の意味を見いだすことができ、それらが暮らしの豊かさにつながることを記事の中で伝えられることを指す。少しでも含まれればA、多分に含まれればSとする。</p>	<p>課題の指示に従って、比較・検討できるだけの情報を集め、それを記事にまとめている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	コンテンツ(6) 日本の伝統的な発酵食品について学ぶ	講義	学習した内容を理解する	(予習)日本の発酵食品について調べておく復習:講義でノートしたことを更に調べて知識として身につける。	60	主体性 傾聴力 課題発見力
2週 /	興味を持った発酵食品について調べて、人に伝えることが出来るように理解する。	演習	学習した内容を人に誤解無く伝えることが出来る。	(予習)ノートを確認して、前回の知識の確認をする。 (復習)興味を持った発酵食品について調べる。	60	主体性 発信力
3週 /	興味を持った発酵食品の面白さが分かり易いように他の発酵食品についても調べる。	演習	興味を持った発酵食品の面白さが分かるような他の発酵食品を見つけることが出来る。	(予習)前回の内容を確認する。(復習)更に広く発酵食品に着いて調べる。	60	主体性 課題発見力 傾聴力
4週 /	3週までに集めた資料を用いて、分かり易く人に伝える方法を考える。	演習	3週までの試料を工夫して人に伝えることが出来る。	(予習)3週までの知識の確認。 (復習)人に伝える方法について調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5週 /	4週までに集めた資料を用いて、興味を持った発酵食品の面白さについて、人に伝えるために文書にして完成させる。	演習	学習した内容を理解し、人に分かり易く伝えることが出来る。	(予習)今まで学んだことを総合的に確認する。	60	発信力 傾聴力
6週 /	コンテンツ(7) 現代の食に関する問題点をウェブページを基に拾い出し、個人課題を見つける。	講義(ガイダンス) グループ活動	食に関する問題に関心をもち、自分の課題を見つけることができる。 (ワークシート・発表より)	(予習)食に関する問題を調べる。 (復習)食に関する問題点を整理する。	90 90	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	課題を解決する具体的な形として、調べる準備(内容・方法)を確認する。 個人活動を開始する。	講義 個人活動	課題を探究する具体的な進め方を整理することができる。 (ワークシートより)	(予習)課題に関する情報を収集する。 (復習)課題に関する基本図書を読む。	90 90	主体性 課題発見力
8週 /	課題を解決するための個人活動を進める。	個人活動	情報を整理しながら課題を探究することができる。 (個人活動の様子より)	(予習)課題に関する情報を収集する。 (復習)課題に関する基本図書を読む。	90 90	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	課題を解決するために行った活動内容を整理し、レポートとしてまとめる。(授業後、レポート提出)	個人活動	情報を整理しながらレポートとして分かりやすく整理することができる。 (完成したレポートより)	(予習)課題に関する情報を収集する。 (復習)レポート内容を追加・整理する。	90 90	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
10週 /	個人レポートの相互発表を行い、学習活動全体を総括する。(授業後、総括作文提出)	相互発表 個人総括	相互発表を通じて、食に関する問題を学習開始時よりも深く考えることができる。 (発表・総括作文より)	(予習)各自のレポートを精読する。 (復習)学習活動全体を振り返り、食の問題に対する自らの考えを整理する。	90 90	主体性 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
11週 /	キャリア形成Ⅰの振り返り1 キャリア形成Ⅰで作成した成果物の相互レビューを行い、文章の修正を行う	演習 グループ活動	キャリア形成Ⅰで作成した成果物の問題点を見つけ修正できる。	(予習)キャリア形成Ⅰで作成した成果物をまとめておく。 (復習)時間内に完了しなかった作業を完了させる。	30 150	主体性 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
12週 /	キャリア形成Ⅰの振り返り1 キャリア形成Ⅰで作成した成果物の相互レビューを行い、写真、図表の修正点をまとめる。	演習 グループ活動	キャリア形成Ⅰで作成した成果物の問題点を見つけ修正できる。	(予習)キャリア形成Ⅰで作成した成果物をまとめておく。 (復習)写真の再撮影、図表の修正を行う。	30 150	主体性 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
13週 /	キャリア形成Ⅱの振り返り1 キャリア形成Ⅱで作成した成果物の相互レビューを行い、文章の修正を行う	演習 グループ活動	キャリア形成Ⅱで作成した成果物の問題点を見つけ修正できる。	(予習)キャリア形成Ⅱで作成した成果物をまとめておく。 (復習)時間内に完了しなかった作業を完了させる。	30 150	主体性 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
14週 /	キャリア形成Ⅱの振り返り1 キャリア形成Ⅱで作成した成果物の相互レビューを行い、写真、図表の修正点をまとめる。	演習 グループ活動	キャリア形成Ⅱで作成した成果物の問題点を見つけ修正できる。	(予習)キャリア形成Ⅱで作成した成果物をまとめておく。 (復習)写真の再撮影、図表の修正を行う。	30 150	主体性 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
15週 /	キャリア形成Ⅲの振り返り キャリア形成Ⅲで作成した成果物の相互レビューを行い、文章や写真、図表の修正点をまとめる。	演習 グループ活動	キャリア形成Ⅲで作成した成果物の問題点を見つけ修正できる。	(予習)キャリア形成Ⅲで作成した成果物をまとめておく。 (復習)時間内に完了しなかった作業を完了させる。	30 150	主体性 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力